

特集 まちづくりの現場から

上毛PAスマートIC(仮称)設置で広がる可能性



東九州自動車道 佐井川橋現場見学会
平成23年11月4日
発注者：中津工事事務所
請負者：Hitz 日立運輸株式会社
西吉富小学校
1年生、2年生、3年生一同

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。
今月は、「上毛PAスマートIC設置に向けた取り組み」の現場からお届けします。

PAパーキングエリアの略ICインターチェンジの略

東九州自動車道(以下「東九州道」)は北九州市を起点として、大分・宮崎の各県を結び鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道です。沿線には、多くの重要港湾や空港、そして北九州市・大分市・延岡市などに代表される生産拠点都市が位置しており、これらを有機的に結ぶ路線です。上毛町が位置する椎田〜宇佐間は平成27年春の開通を目標に、工事が着々と進んでいます。

東九州道には、今後2つのスマートICの建設が予定されており、その1つが上毛PAスマートICです。下唐原に建設予定の上毛PAに接続し、そこから高速道路本線に降り降りできる施設で、上毛町の住民にとっては高速道路がより身近なものになり、観光、レジャー、通勤、通学や都市との交流が非常に便利になります。

また、近隣市町も含めた経済発展や観光振興も見込まれ、九州周防灘地域定住自立圏構想では、大変重要な施設として位置づけられています。これらのことを受けて、上毛町では平成19年度からスマートIC設置に向け、取り組みを行ってきました。

※スマートICとは、ETC車載器を積んだ自動車専用のICで、従来の本格ICと比べて簡易な設備で済み一般的に低コストで導入できるICのこと。

スマートインターチェンジ設置に向け

まず、スマートICを上毛町に設置することについて、費用対効果などあらゆる視点からその可能性について調査し、検討しました。その結果、十分な活用見込みがあると確認できたため、上毛町大字下唐原地点(上毛PA)にスマートICを設置可能と判断しました。その後、高速道路との接続部分の交通安全性などについて、交通管理者である福岡県警察本部と協議を繰り返し、安全対策の確認を行いました。

平成22年度からは、スマートICの構造の安全性や管理運営方法、設置による経済効果や採算性をより専門的かつ現実的に即したかたちで検証しました。西日本工業大学総合システム工学科教授、堤氏を会長、鶴田町長を副会長とし、国土交通省、西日本高速道路株式会社、福岡県、大分県、中津市、吉富町及び福岡県警からなる勉強会を開催。また平成23年に同メンバーによる地区協議会を設立し、スマートIC設置のための実施計画書を策定しました。

そして、本年4月、国土交通大臣から東九州道と一般道との連結許可を受け、正式に上毛PAスマートICの設置が決定されました。



上毛PAスマートIC設置で期待される効果

スマートICは町道恒久橋・上丸尾線と東九州道との立体交差点付近に設置する計画で、この路線を経由して国道10号線や中津市街地へと繋がっていきます。

スマートICの設置により、産業や観光の振興、農林産物の販路拡大、防災活動拠点の確保などさまざまな分野での効果が生まれ、町のポテンシャルの向上と、定住促進に繋がることが期待されています。

アクセス性の向上

観光地へのアクセス性

スマートIC付近には、大平樂やふれあいの里ログハウス、山国川の対岸には中津城や福澤記念館といった観光施設が立地しています。また、耶馬溪や青の洞門といった景勝地にもたくさんの観光客が訪れています。

スマートICの整備により上毛町及び中津市中心部の観光施設と中津日田道路を介した大分県内陸部との観光周遊が期待でき、特に北九州方面からのアクセスポイントとなる上毛町は観光客の増加が見込まれます。

第三次医療施設へのアクセス性

現在、上毛町から第三次医療施設※への救急搬送先は主に北九州総合病院ですが、スマートICの整備後は新別府病院への搬送も想定され、救命率などの向上が期待されます。

また、高速道路の走行により交差点での加減速も少なく、揺れや振動の少ない安静な搬送が可能となり、搬送中の患者のストレス軽減や車内での搬送中の各種の処置も容易となります。

※第一次、二次救急医療では対応できない複数の診療科領域にわたる重症な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する医療体制があること、重篤な患者に対し高度な治療が可能な医療施設のこと。



スマートICの概要	
●計画交通量(H42推計)	1,600台/日
●供用予定時期	平成27年春目標
●事業費(概算)	10.6億円
うち日本高速道保有・債務返済機構	6.1億円
うち西日本高速道路株式会社	3.1億円
うち地方公共団体(上毛町)	1.4億円
●接続形態	PA併設型 上下線、両方向
●対象車種	ETC車載器を搭載した西日本高速道路株式会社の料金車種区分の全車種(軽自動車、普通車、中型車、大型車、特大車)

工業の振興

スマートIC周辺地域は、半導体や自動車関連の企業が立地し、北部九州自動車150万台生産プロジェクトの一翼を担っています。福岡市や北九州市からのアクセス時間の短縮により、効率的な企業活動に貢献します。

また、新たな企業の誘致も含め、就業機会の創出や製造品出荷額の増大が期待されます。

主要ブランド品の販路の拡大

上毛町では、地域特色のある農林産物が生産・加工されていますが、主に中津市をはじめとする近隣市町で消費されています。スマートICの設置により、東九州道へのアクセス時間が短縮し、北九州や福岡、大分、関西、関東方面への販路の拡大が期待されます。

災害に強い地域づくり

スマートICの整備により、国道10号線の通行止め時における代替性が向上し、緊急時においても地域内の交通が確保されます。また、大規模災害発生時には、東九州道が第一次緊急輸送路として指定されます。上毛町の防災拠点施設は東九州道に近接しており、物資や負傷者の搬送時にアクセス性が向上します。さらに、スマートICを防災拠点として活用することで、災害時における防災拠点機能の確保が期待されます。

●問い合わせ先 建設課土木係 TEL723-1111(内線195)